

1. 体制

居宅介護支援センターみすみは、スタッフは常勤の介護支援専門員1名（管理者兼務）の体制で、介護保険での居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、また、適切なサービス利用ができるよう市町村やサービス事業者、介護保険施設等と連絡調整を行い、在宅生活の支援を行った。

2. 実績

（表-1）

大類	小項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実績	契約者数	35	36	35	34	35	34	35	34	32	33	34	36	413
	新規契約者数	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	1	4	10
	契約解除(死亡、入所など)	1	0	2	0	1	0	0	2	2	0	1	2	11
	実績者数	31	34	32	32	32	32	32	32	30	32	33	35	387
	未実績者数(入院等)	4	2	2	2	3	2	3	2	2	1	1	1	25
	相談件数	11	5	3	9	8	5	9	7	10	6	9	7	89
	介護保険申請代行	3	1	0	1	2	2	3	1	2	0	1	2	18
	カンファレンス担当者会議	9	10	9	11	8	10	16	10	11	12	7	9	122
	居宅訪問回数	23	27	31	29	32	30	36	29	32	38	28	33	368
	当院訪問リハ紹介数	4	4	4	5	5	5	6	7	8	8	7	8	71
	当院通所リハ紹介数	9	10	10	11	11	11	12	11	11	12	12	14	134
	契約者市町村	宇城市	10	11	10	10	11	11	11	10	10	11	11	10
上天草市		23	23	22	22	21	21	22	21	20	20	20	23	258
天草・熊本市		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

2019年度の延べプラン作成件数は387件で、前年度より3件増加し、入院者などの未実績者が25名であった。また、要介護認定変更による暫定プラン作成は1件であった。実績者数は月30名以上を維持することができたが、月平均は32名で目標の33名には届かなかった。そのため次年度は契約者数を増やし、実績者数を伸ばしていきたい。

相談・介入依頼は89件で、家族、関係機関からの相談・依頼が多かった。内容としては、介護保険の申請・更新手続き、サービス調整などが主で、介護保険代行申請数は18件（新規・更新）であった。

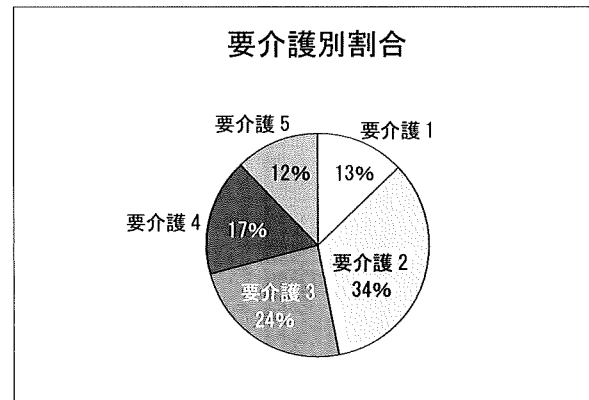
契約者の地域別の割合としては、半数以上が上天草市大矢野町で（宇城市31%、上天草市・天草市66%、熊本市3%）、男女比でみると女性が18%も高かった（男性41%、女性59%）。

要介護度別に見ていくと、要介護度2・3が全体の約6割近く（58%）を占めており、また、介護度が重くなるにつれ在宅生活は厳しくなっていくが、要介護度4・5も約3割（29%）を占めた。（グラフ-1）要介護別割合

契約解除者は11名で、理由としては介護者不在となり転居となった方が1名、死亡が3名、本人の利用拒否でサービス利用に繋がらなかった方1名、要介護から要支援になった方が1名、在宅生活が困難になり施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設）に入所した方が5名であった。

世帯別（延べ）で見えていくと単身世帯4件、夫婦二人暮らしの世帯が111件、家族同居世帯が215件、有料老人ホーム入所者が83件であった。日中家族が不在となり一人で過ごされる世帯や介護者が必要となり仕事を退職された家族もいた。実際に老老介護の世帯で介護者が入院となり、県外在住の娘さんが同居した事例があった。

（グラフ-1）



3. 次年度の計画

当院周辺地域は高齢化率、老老介護世帯の増加が著しい中、在宅生活での介護、体力・精神的にも負担を感じながら、毎日を必死に生活されている。そのサポートとして、病院併設の居宅としての強みを活かし医療、訪問リハビリ・通所リハビリとの連携を密に図り、一人一人と向き合いチーム一丸となり、安心して住み慣れたご自宅で生活ができるよう調整役に努めていきたい。